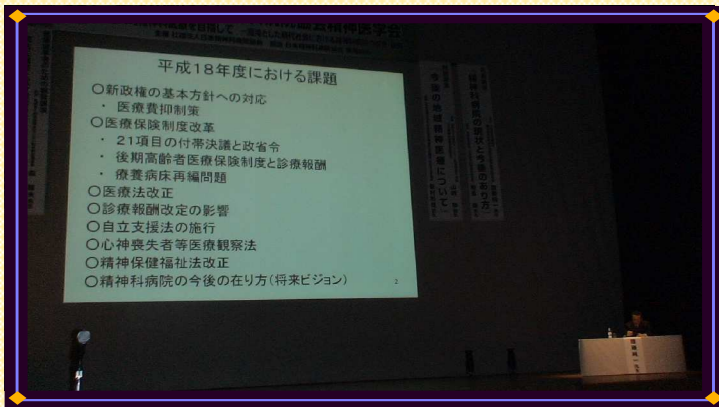
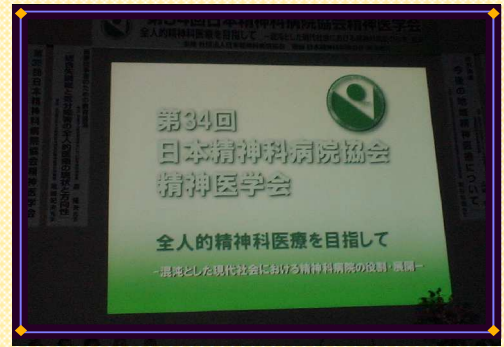


第34回日本精神科病院協会精神医学会

11月16～17日に第34回日本精神科病院協会精神医学会(学会長:松阪厚生病院院長 齋藤純一)が三重県総合文化センターで開催されました。

本学会は「全人的精神科医療を目指して - 混沌とした現代社会における精神科病院の役割・展開 -」をテーマとして開催され、そのテーマのもと、より良い医療の提供および心や精神を病む人の社会生活の向上へと繋げていくために有用活発な発表や検討が数多くなされました。さらに、齋藤純一学会長は、心や精神を病む人を中心に巻き巻く環境を考慮しながら、医師・看護師・薬剤師・精神保健福祉士・作業療法士・臨床心理士・栄養士達によるチーム医療と家族・地域・職場・官民を含めた福祉機関等との連携の必要性を提言されました。



この2日間で1530名の学会参加がありました。また、出展ブースは20を超え各職種からの一般演題発表においては過去最高の264の発表があり熱気溢れる討議が繰り広げられました。

松阪厚生病院は、学会事務局として本学会に携わりました。お陰様で多くの参加者をお迎えし、無事盛況のうちに終了することができました。ご協力、ご尽力頂きました皆様心より感謝いたします。

行事・活動報告

クリスマス演芸会開催！！

12月6日にクリスマス演芸会を開催いたしました。

患者様もスタッフも、みんなで一緒に唄を歌ったりダンス・踊りをしたり、ゲームをしたりしました。患者様もスタッフも何日も前からこの日を心待ちにしていました。入院生活はどうしても単調になりがちですが、合唱やダンスをしている患者様の表情は皆、生き生きとしていて、笑顔が多くみられました。最後には、盛山看護部長の舞踊を見せていただき、大きな拍手で終わりました。

地域交流

当院の体育館で医師、地元の高校生、大学生とバドミントンを通じて交流をはかっています。また、グラウンドを地元の子供達スポーツの場として提供しています。

